

## 「人文科学コース 9期生」発進!!

平成24年度より「いしかわニュースーパーハイスクール（NSH）」の指定を受けてスタートした「人文科学コース」。9期生となる今年の21H(人文科学コース)は40人。彼らが、その柔軟な発想と探究心で本校の新しい歴史を作っていくてくれることを期待しています。

### ●「人文科学コース」ってなに?●

人文科学コースとは、

1. 人文科学系・社会科学系分野の興味・関心を高め、幅広い教養を身につけた、国際社会や地域社会で活躍するリーダーの育成を目指します。
2. 特色あるカリキュラムを編成し、学校設定教科「人文科学」（課題研究）を活用して、思考力や探究力、表現力を育成します。
3. 東大・京大をはじめとした難関国立大学への進学を目指し、確かな学力とともに、地域の教育力を活用した人間力の育成をはかります。

1年	普通科（7クラス）			理数科 (各学年1クラス)
2年	人文科学コース (1クラス)	文系	理系	
3年	人文科学コース (1クラス)	文系	理系	



### ●課題探究活動ってなに?●

今、世の中がどんなふうに動いているか、知っていますか。グローバル化という言葉にあるように国の枠組みを超えて人や物や情報が行き交い、社会の枠組みが大きく変化してきています。例えば、科学上の発見が直ちに技術革新に転化され、私たちの生活が豊かになったりする一方で、世界規模での感染症の流行により私たちの生活が大きく変わったりしています。またインターネットの普及はコミュニケーションの形態を変え、オンライン授業やリモートワークなどもかなり身近なものとなりました。このように時代の変化は加速度的で、とどまるどころを知りません。

人生において「目標」を持つことの意義については、言うまでもありません。しかし、先の見えないこの時代において「目標」を持つことは難しいことです。では自分なりの「目標」を持つには、どうしたらよいか。まず自分がどういう興味や関心を持っているかを知るところから始まります。そしてその領域に関する情報を集め、「現実」をしっかりと認識し、同時に自分の「夢」を考えるのです。そうすると「現実」と「夢」の落差が見えてきて、「問題」が発見できるのです。その「問題」解決が、自分の「目標」となります。

他の誰にも真似できない自分なりの目標を持つための訓練を「探究学習」が担ってくれます。人文科学コースでは、週2時間がこの課題探究活動、通称「Jゼミ」に充てられています。

## ●Jゼミの様子●

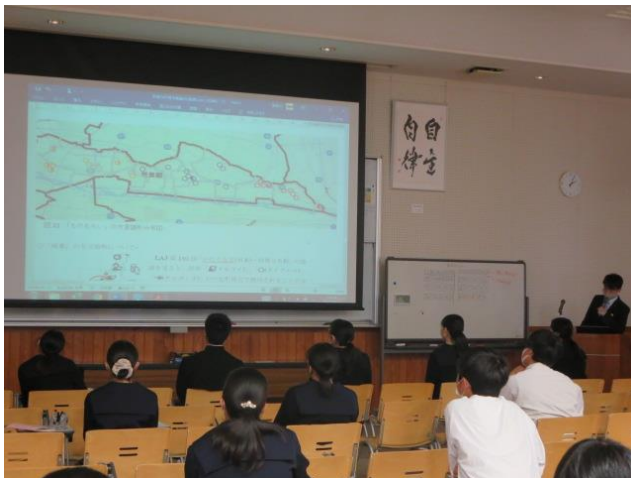
### 4月23日 Jゼミ開講式

この日は「課題探究の意義」「研究の進め方」のレクチャーに加え、今現在の自分の興味関心を見つめ直すワークショップが行われました。マインドマップの中心に自分の名前を書き、そこから枝を伸ばしていくことで気づかなかった自分の興味関心を見つける生徒も見られました。



### 4月27日 先生による卒論発表会、教科に分かれ探究活動スタート

この日は国語、英語、地歴公民の各教科の先生による大学時代の卒業論文発表会を行いました。研究の中身だけでなく、「なぜその研究をしようと思ったのか（動機）」「研究でつまづいたことは何か」「その研究が今の自分にどうつながっているのか」を中心としたものとなっており、「課題研究」ってどうすればいいの？そもそも大学ってどんなことを学んでいるの？将来のことがよくわからない…と話していた生徒にとってのヒントの場となりました。その後は、実際にグループに分かれ探究活動のスタートです。



(卒論発表会を終えての生徒の感想)

- ・研究をしていく上できっと結果がでないこと、失敗することはあると思うが、探し続けることが大切だと思った。
- ・身近なことや自分の興味のあることをきっかけに研究がスタートしていることが多いと感じたので、自分も身近なこと、自分のことをもう少し振り返ってみようと思った。
- ・自分自身、1年生での探究活動で結果ができればいいと思っていた部分があったので、今日の話聞いて結果も大切だけどそれをどう生かしていくか、結論を他のことに広げられたらいいなと思った。
- ・自分の中のささいな気づきやひらめきを大切に、それらを研究して深めていきたいというこの探究心をずっと持ち続けたいと思った。

## ●NSH担当スタッフ紹介● よろしくお祈いします！

加藤秀雄(室長・英語) 小林樹実(地歴) 長丸梨絵(国語) 能美仁(国語) 西佳織(英語)  
江川未来(英語) 古谷広志(英語) 菅村吉晃(地歴) 高山良太(地歴)